

議会だより

平成27年3月定例会版



英語特区の学習環境について 昭和小学校で意見交換

総務文教委員会は2月16日、英語教育特区の状況確認のため昭和小学校を訪問。池上校長や教育委員会事務局から昭和幼稚園、昭和小・中学校の連携や通学方法の現況等の説明を受け、学習環境について意見交換を行いました。

市内の荒廃農地等を調査するため2月17日、産業水道委員会が三須、山手地内等を視察。市農業委員会事務局から、農地の現状や再生への取組等について説明を受け、状況を確認しました。

荒廃農地や再生農地の 状況などを現地調査



市長の政治手法改善決議を全会一致で可決

主な内容

| | |
|-----------------------|-------|
| 3月定例会市議会 | 2ページ |
| 3月定例会市議会一般質問 | 4ページ |
| 委員会活動報告 | 12ページ |
| 議員定数等調査検討に関する小委員会中間報告 | 15ページ |
| 議員と市民の意見交換会のお知らせ | 16ページ |

平成27年3月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with columns: 番号, 付議事件, 結果. Lists various council resolutions and their outcomes.

平成27年3月定例総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

Table showing voting status for council resolutions. Columns include 議員名 and 議決結果.

[凡例] ○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・ 賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。
・ 剣持堅吾議員は、議長のため採決には加わりません。

英語特区 スクールバス条例 1年後に見直すよう修正

三菱車購入に20万円付商品券は可決

3月定例議会を、3月2日から20日までの19日間の会期で開催しました。(審議結果は左のページのとおり)
国の交付金1億円を活用し市民の市内での消費(総額6億円分)を喚起するプレミアム付き商品券(1人当たり上限5万円、三菱自動車新規購入の場合は百万円、上乗せ率20%)の販売などを含む平成26年度一般会計補正予算(第8号)を賛成多数で原案どおり可決しました。
市役所本庁舎の玄関改修と外壁補修に1億円
総額261億3千万円(前年度当初比14億円減)となる平成27年度一般会計予算の主なものは、新設されるコンプライアンス推進室の推進監(警察官OB)の報酬などに472万6千円、本庁舎の玄関付近改修・外壁補修に800万円、市内全地区でスタートする地域づくり一括交付金に7574万3千円、障がい者自立支援サービス給付等事業に8億5208万8千円、昭和地区等英語教育推進事業に3894万5千円、学

市長の政治手法改善決議を全会一致で可決

平成26年度一般会計補正予算に計上されたプレミアム付き商品券を始め、「近年の市長は、報道機関を使っていち早く市民に内容を公表し、さも可決されるのが当然の如き手法で施策を推進している」として議員5人の連名で提案された「片岡聡一総社市長の政治手法を改めることを求める決議」は、全会一致で可決されました。これに対し市長は閉会のあいさつで、「今後は改めるよう心がける。反省し、お詫びする」と述べました。

000万円、市内全地区でスタートする地域づくり一括交付金に7574万3千円、障がい者自立支援サービス給付等事業に8億5208万8千円、昭和地区等英語教育推進事業に3894万5千円、学業に3894万5千円、学力向上教員加配事業に1億4035万1千円、図書館のエレベーター設置に7764万8千円などで、賛成多数で原案どおり可決しました。
空き家の適正管理や総社産米消費促進の条例制定を可決
条例の制定や改正では、市内に約4560戸あるとされる空き家の適正管理について定める「空家等の適正な管理に関する条例」、総社産の米消費を促す「そうじゃ産米食べ条例」など20の条例案を原案どおり可決。「昭和地区英語特区に係るスクールバス等の運行に関する条例」では、条例施行から1年を目途にバスの運行状況等を勘案して条例の規定を検討し、必要に応じ措

置を講じるものとするとの附則を追加して可決しました。
また、高梁川流域の都市連携を図るため、本市を含む7市3町が、その基本的な方針や役割分担を定める連携協約の締結を可決しました。
三宅教育委員の再任に同意
任期満了に伴う教育委員の任命は、三宅眞砂子氏(総社)を再任することに同意(任期は平成31年5月11日まで)。
また、任期満了に伴う人権擁護委員の候補者に赤木公子氏(西阿曾)、川田一馬氏(再任、下原)を推薦することに同意しました(任期はどちらも平成30年6月30日まで)。
陳情
農用地の不正事務及び本件該当地への排水妨害事件に係る陳情は、審査を付託された産業水道委員会が陳情者を参考人として招致し趣旨説明を聞くなどした結果、継続審査となりました。



小西 義巳

問 一丁ぐる古墳群を国や県の指定文化財にできないか整備費などを考え、国・県へ要望していきたい

答 一丁ぐる古墳群の5号墳から33号墳及び大ぐる古墳並びに茶臼嶽古墳を本市指定文化財にできないか。

教育長 全体が大きな古墳で、4世紀から7世紀に造られたと言われており、吉備の国の歴史を考えると非常に重要だと思っている。全体を市の指定にしたいと考えている。

問 今後、国・県への移管について、どのように考えているのか。

教育長 秦歴史保存協議会とも協力しながら、今後、県にも働きかけていきたい。その前提には県の指定が重要だと考えている。

問 観光行政について

岡山県とJR各社が展開するドステイネーションキャ

市長 新規就農者に対する宿泊型研修施設を設置してはどうか。

市長 新規就農者に対し、空き家を斡旋するなど、地域に根ざしたシステム作りを考えていきたい。



国・県指定が望まれる大ぐる古墳



山口 久子

問 在宅高齢者介護激励金を増額できないか

答 在宅高齢者介護激励金は、どのような状況の人に支給しているのか。

市長 在宅で寝たきりや認知症高齢者などの介護者に月額3500円を支給している。要介護4、5及び要介護3の認知症の人の介護者である。

問 在宅高齢者介護激励金の制度を知らない人も多い。もっと市民に周知できないか。

市長 該当する在宅高齢者の家族にお知らせをする。激励金を活用してほしい。

問 現在の支給額は十分とは思えない。どのように考えているか。

市長 現在、171人に支給している。在宅高齢者の介護者の状況をしっかりと知り、自宅で頑張っている介護者に増額を考えていきたい。

女性職員の登用について

問 女性の能力を一層育てる環境づくりは考えているか。

市長 男性女性に関係なく、個人の能力、統率力などを考慮して登用している。今後とも女性職員の意欲、能力を育てていき管理職に登用したい。

空き家の固定資産税について

問 空家等対策の推進に関する特別措置法が成立したが、固定資産税の軽減措置はどのようになるか。

市長 「特定空家」の認定基準は、まだ未確定であるが、倒壊などの恐れのある「特定空家」と認定すると、固定資産税の軽減は受けられなくなる見込みである。

問 在宅高齢者介護激励金を増額できないか

答 在宅高齢者介護激励金は、どのような状況の人に支給しているのか。

市長 在宅で寝たきりや認知症高齢者などの介護者に月額3500円を支給している。要介護4、5及び要介護3の認知症の人の介護者である。

問 在宅高齢者介護激励金の制度を知らない人も多い。もっと市民に周知できないか。

市長 該当する在宅高齢者の家族にお知らせをする。激励金を活用してほしい。

問 現在の支給額は十分とは思えない。どのように考えているか。

市長 現在、171人に支給している。在宅高齢者の介護者の状況をしっかりと知り、自宅で頑張っている介護者に増額を考えていきたい。

女性職員の登用について

問 女性の能力を一層育てる環境づくりは考えているか。

市長 男性女性に関係なく、個人の能力、統率力などを考慮して登用している。今後とも女性職員の意欲、能力を育てていき管理職に登用したい。

空き家の固定資産税について

問 空家等対策の推進に関する特別措置法が成立したが、固定資産税の軽減措置はどのようになるか。

市長 「特定空家」の認定基準は、まだ未確定であるが、倒壊などの恐れのある「特定空家」と認定すると、固定資産税の軽減は受けられなくなる見込みである。



高谷 幸男

問 地場産業である中小企業の支援策は考えられないか

答 新たに設置した中小企業サポートセンターで支援する

市長 中小企業支援のための新制度を何か考えられないか。

市長 厳しい財政状況から、身の丈に応じた支援をしたい。

問 中小企業振興のための民間組織は考えられないか。

市長 振興委員会及び雇用対策会議などの連携組織により今後対応したい。

問 地域づくりのための自治組織の一層の充実を

問 未組織・未加入世帯をどのように考えるか。

市長 市全体では約7割が加入しているが、中心市街地は半分程度にとどまっており、組織化は必要である。地域で十分協議してほしい。

問 自主防災組織や防災士の充実強化を推進してはどうか。

市長 組織率は県下最低の4

問 新たに設置した中小企業サポートセンターで支援する

市長 割台で低迷しており、充実が必要である。また、防災士は必要であり、組織化により支援も可能である。

問 総社駅周辺整備のための方策はどうか

問 魅力ある総社駅周辺の計画は考えられないか。

市長 現在のままでは寂しい感じがする。都市計画の見直しも考えながら、新しい計画で考えたい。

問 空き店舗などもあり、今後、民間活力なども含めた施策は考えられないか。

市長 現在の総社駅の利用者は一日3000人余りである。今後、新しいテーマとして捉え、ソフト事業も考え合わせながら、整備計画を立てたい。

問 倉敷市を中心とした連携中枢都市圏構想と岡山市との吉備線LRT化構想の間で、本市の立ち位置はどうか。

市長 両圏域の一部ではなく、地理的にもセンターとして中心的役割を担っていくような気概を持ってやりたい。

問 倉敷、岡山両市長ともコンパクトシティ化を訴えているが、本市の独自性が失われるのではないか。

市長 人口が大都市に流出する懸念は否定できないが、圏域の在住者のための利便性や福利厚生を上げていくために連携は深めていく。その中心的な役割を担っていく。そういうことを目指していきたい。

問 産業振興について

問 特に地場産業の育成につ



荒木 勝美

問 広域連携における本市のスタンスはどうか

答 圏域の中心的役割を担って

市長 総社に進出しても人が集まらないのではないかと、この風評が広がることを懸念している。

問 雇用者確保のための方策はないか。

市長 雇用者確保のため、高梁市と協定を結び、真庭市とも雇用斡旋を行ってもらおうという話をしている。

問 雇用を定住に結びつけるため、定住化を促進するための方策はないか。

市長 昭和地区の定住促進の具合を見ながら検討していきたい。

問 倉敷市を中心とした連携中枢都市圏構想と岡山市との吉備線LRT化構想の間で、本市の立ち位置はどうか。

市長 両圏域の一部ではなく、地理的にもセンターとして中心的役割を担っていくような気概を持ってやりたい。

問 倉敷、岡山両市長ともコンパクトシティ化を訴えているが、本市の独自性が失われるのではないか。

市長 人口が大都市に流出する懸念は否定できないが、圏域の在住者のための利便性や福利厚生を上げていくために連携は深めていく。その中心的な役割を担っていく。そういうことを目指していきたい。

問 産業振興について

問 特に地場産業の育成につ



根馬和子

問 子育て『王国』にふさわしい環境が整っているか

答 認定こども園を設置して待機児童の解消に取り組む

問 保育所における待機児童の実態と今後の予想はどうか

答 裕あるクラブなどの広域連携も考える。

市長 平成27年2月で79人、来年3月で170人、5年後には200人を超す予想だ。

問 合併の検証はどうか

市長 良かったと感じている。

市長 各保育所の定員増や、幼稚園での小規模保育の実施などで、5年後には200人に対応したい。

問 認定こども園の計画はどうか

市長 所長は職員OBがなり、職員数は検討中だ。また、山手出張所の有効活用のため、地食へ公社を入れたい。

市長 清音幼稚園を認定こども園にして定員を30人増やす。

問 市の歌が発表される。活用はどのようにするのか

市長 山手では、放課後児童クラブの利用は小学校3年生までである。対象年齢を上げるべきだがどうか

市長 素晴らしい歌ができたので、大いに活用していく。

市長 規則としては3年生までだが、柔軟に考えたい。余

教育問題について
問 児童・生徒の不登校はどのような状況か

教育長 小学生17人、中学生39人で、年々減少している。

赤澤康宏

問 プレミアム付き商品券の市民への周知方法は

答 議決後、早急に市内全戸に内容等を配布する

問 プレミアム付き商品券の内容と今後の対応はどうか

答 予算計上した。将来は女性消費職員が増えることを期待する。

市長 総額6億円分を市内全店で使用可能にする。1人上限5万円であるが、三菱自動車購入に限り、100万円で限定50台分の商品券を考えている。

職員採用について

問 企業誘致について

問 高梁市との包括連携協定の内容と、安定財源確保のために、今後誘致できる土地整備の思いはどうか

市長 職員数を将来減らすと聞く。職員554人と嘱託職員・臨時職員が436人の現状を、どう感じているのか

市長 お互いの観光資源等を共有し、また、総社の働き場の紹介をする。今後の企業誘致場所は、県との連携を今以上に密に行い考える。

市長 嘱託・臨時職員数が多いと感じる。交付金が年々減少予測なので、10年後には、5%の削減を考えている。

問 法の改正で要支援1、2の対応が変わる。サービスの低下にならないか

問 女性消防職員を採用する予定だが、今後の展望は

市長 平成29年度までに、各市町村が行う総合事業に移行する。通所介護や訪問介護の基準を検討していく予定だ。

市長 採用に当たり、専用の風呂・トイレ・仮眠室設置を

難波正吾

問 国の「新交付金」の活用内容はどうか

答 プレミアム付き商品券を発行し地域消費を喚起する

問 地元経済への波及効果が大きい住宅リフォームへの助成はできないか

教育長 増加傾向である。ソーシャルワーカー、カウンセラーの加配や、平成27年度から不登校支援員を5人配置するなどして、情報を共有し、教員の負担軽減に努める。

市長 プレミアム付き商品券の6億円分について、経済効果の大きいリフォームに使ってもらえればありがたい。市費での助成は、財政上難しい。

問 勤務時間が長くないか

教育長 長時間勤務である。

学校での体罰、教員の健康、勤務実態について

問 勤務時間が長くないか

教育長 長時間勤務である。

問 文科省の調査では、体罰での教員処分は過去最多の3953人である。本市の現状はどうか

問 勤労時間と内容はどうか

教育長 テーマは赤と黒である。造形7、舞台4団体で構成する。オペラは総社では初演で、ヨーロッパで活躍中の歌手が登場する。

教育長 本市では平成24年度に注意処分が1件あった。国が処分の基準を示し、県でも体罰防止ハンドブックで基準を明確にした。

問 教員の病気休職者が増加している。本市の現状は

問 総社芸術祭の開催

問 取組状況と内容はどうか

問 総社芸術祭の開催

小川進一

問 子育て王国の今後の施策はどうか

答 地域・市民が子どもを育てていくようにしたい

問 待機児童の現状と今後はどうか

問 空家の数が、平成25年の調査で4560戸とある。実数を把握しているのか

市長 現在70名弱で、来年3月末には170名となる。これを解消するのが急務で、民間保育所の定員増や幼稚園の預かり保育の拡充策、事業所内保育、認定子ども園等、いろいろな方策を考える。

市長 将来的には、子どもの部門は一本化したい。場所の問題も考えていきたい。

問 『子ども夢づくり課』の命名は誰が行ったのか

市長 将来的には、子ども部門は一本化したい。場所の問題も考えていきたい。

市長 職員が考えた。いろいろな案が出た。関係者や市民の意見も参考にすれば良かった。

市長 4560戸のうち倒壊等のおそれのある危険な空き家は680戸と見込んでいる。

問 こども夢づくり課の場所はどこか。市民に分かりにくい

市長 調査を進めていくうえで、地元の情報が必要となってくる。

市長 所管が教育委員会となり、総合福祉センター3階、今の生涯学習課の場所になる。

市長 調査を進めていくうえで、地元の情報が必要となってくる。

問 教員の病気休職者が増加している。本市の現状は

問 総社芸術祭の開催

市長 調査を進めていくうえで、地元の情報が必要となってくる。

市長 調査を進めていくうえで、地元の情報が必要となってくる。



村木理英

問 吉備線LRT化で本市定住人口は増加するか

答 LRTの利便性は将来の定住人口確保に寄与する

問 東総社駅の利用客は減っており、周辺の空洞化が起こっているのではないかと心配している。中心地の定住策にLRTをどのように生かせるか考えるか。

市長 LRT化と土地利用の在り方が、人口対策に欠かせない要素だと思っている。

問 新駅の設置についてはどうか。

市長 駅の構想は本市、岡山市、J.Rの3者協議で決めていく。増やせるか、減らされるか、定かでない。

問 流入人口の確保についてどのように考えるか。

市長 LRTは、定住者の流入には寄与する。岡山市に通勤可能圏内であり、買い物客が岡山市に多く流れるかもしれないが、返ってくる利益の

方が多いと思っている。

問 流入人口を増加促進するうえで、「総社はLRTの走っているまち」ということが、インパクトのあるシンボルになると思うがどうか。

市長 LRTを国が提唱して、富山市以外には続かなかったが、その価値は大きい。

問 LRTは、沿線住民にとって、どのような役割を果たすと考えているのか。

市長 踏切がなくなり、駅周辺や踏切付近などの通気性がよくなる。

問 LRTの運営主体については、どのように考えるか。

市長 運営主体は、公共団体でないほうが望ましい。プロフェッショナルにゆだねるべきだ。

萱野哲也

問 県主催の企画や事業を最大限利用すべきではないか

答 県と仲が悪いわけではない。努力していく



問 岡山県が主催する定住策「おかやま晴れの国ぐらし」のサイトを利用し、総社市定住PRを積極的に行うべきではないか。

市長 積極的に行うよう努めていく。

問 犬や猫の捕獲について

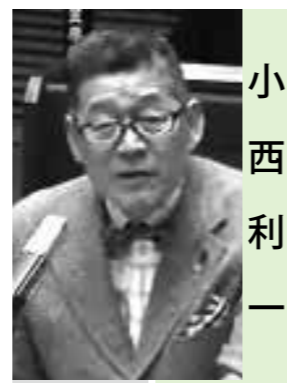
問 犬や猫を捕獲したら、動物愛護センターから市長宛てに抑留通知書が届く。その後、どうするのか。

市長 市役所の掲示板に一定期間貼り出す。

問 市役所の掲示板に貼り出すものなら、市のホームページへも載せるべきではないか。また、愛護センターでは写真付きで捕獲状況を載せている。愛護センターのページに繋がるURLをホームページに貼



更なる周知が望まれる犬の抑留通知



小西利一

問 新総社大橋完成後の西部地区の活性化策はどうか

答 可能なら農地転用の特例も検討していきたい

問 新総社大橋は、いつ頃完成するのか。

市長 平成27年度に国の予算が付けば、平成27年度の後半には完成する。

問 国の予算は本当につくのか。予算がつかなかったら市の税金を使うのか。

市長 更に市の予算をかけることはしない。平成27年度に予算をつけてもらうよう国に強く要望する。

吉備線LRT化について

問 吉備線LRT化について市長は現在どのように考えているのか。

市長 本市の発展のため、前向きに取り組んでいきたい。

問 吉備線LRT化の議論の前に、吉備線利用の活性化に取り組んだことがあるのか。



早期の完成が望まれる新総社大橋

市長 残念ながら個別の事例への対応のみで、総合的には取り組んでこなかった。

問 吉備線が倉敷まで走ったことがあるのは知っているか。

市長 知っている。しらかべ号だ。

問 環状線化なども含めて、今後の吉備線の在り方について、どのように考えているか。

市長 これからの検討事項であるから、色々な発想をしていくことが重要である。

塩見禎章

問 地方創生連携中枢都市圏構想の狙いはどうか

答 人口増や利便性向上のため倉敷市などと連携を深める

問 圏域市町村との共存共栄は可能か。

市長 恩恵にあずかるもの、持ちつ持たれつのも、奪われるものもあると思う。著しく恩恵を受けるのは、医療連携である。圏域が発展するよう努力する。

地方創生先行型事業について

問 事業の内容はどうか。

市長 まち・ひと・しごと創生で早期の効果を目指した緊急支援事業である。

問 総合戦略目標で掲げている13項目の事業のうち、外部委託が4事業あるが、職員の自力での対応はできないか。

市長 今回は委託するようにしているが、今後の総合計画、総合戦略は、職員が手作りで作成していく予定である。

問 中学校通学路の防犯灯設置状況について

問 現在の設置状況と今後の予定はどうか。

市民環境部長 設置要望が出ていた34キロのうち、平成26年度に約半分の区間で388基を設置した。平成27年度には、必要性の高い順に残りの区間も整備していく。

平成27年度の保育所入所状況について

問 待機児童が非常に多いとのことだが、解消するための方策はどのように考えるか。

市長 きよね認定こども園の増築、総社保育所と井尻野幼稚園の統合、民間保育園に定員増をお願いするなどの検討を行い、できることからやっていく。



岡崎 亨一

問 雇用促進住宅の市への譲渡折衝の経緯はどうか

答 市単独での購入は一度断っている

問 雇用促進住宅の入居者の不安感を除くための努力はどうか。

市長 すぐさま市営住宅化は考えられないが、入居者の不安感は払拭していきたい。

工事入札について

問 入札不調の原因は何か。

市長 官製談合事件により、最低制限価格を一層厳しくしたことによる。工事価格に基準率と変動率を掛けて算出しており、変動率はプラスマイナス4%の中で設定されている。くじ引きも電子くじで199通りになっている。

問 最低制限価格の在り方をどのように考えるか。

市長 最低制限価格を設定しなければ力の弱い業者が受注しづらくなるので、公平性・

透明性の上から必要と思う。今の制度を続けながら、民間業者からの意見も聞いていきたい。

問 入札の時期的な平準化をどう考えるか。

市長 平準化のため、年度当初からの発注もしつかりやっしていく。

市立図書館について

問 施設の問題点をどのように考えているか。

教育長 子どもと大人が同じフロアにいて、うるさいとの指摘がある。

問 問題点の改善策はどうか。

教育長 市政10周年事業として、キッズルームを2階に設け、学習室を1階へ移動させる。3階には書庫を増設したい。

三宅 啓介



問 総社小学校の建て替えはいつになるのか

答 平成30年度までに新築工事を完了させたいと考える

問 総社小学校の新築に際し、複合機能を持たせるべきと考えるがどうか。

市長 放課後児童クラブの部屋の設置や、防災拠点としての機能充実も視野に今後検討したい。

橋梁の定期点検について

問 市内には点検義務のある橋などは何カ所あるか。

市長 市が点検義務を有する2m以上の橋は827橋、トンネルは1ヶ所、横断歩道橋は3ヶ所ある。

問 橋の点検方法は規模により違うか。点検技術者には必要資格の指定があるのか。

市長 規模によらず点検は近接目視とハンマー打診で確認する。点検者については国が有資格者の定義をしていない



平成30年度までに新築が予定される総社小学校

のが実状だ。

問 「橋守サポーター」など市民参加の点検はできないか。

市長 国が市民による点検も可能だと示せば、大いに市民参加の点検をすべきと考える。

歯科医師が実施する「家族の絆プロジェクト」について

問 大規模災害に備えて、市としてもサポートすべきと考えるがどうか。

市長 この活動は推進し啓発すべきと考える。

頓宮 美津子



問 胃がんの早期発見のためABC検診の導入を

答 検診率を高めるためにも検討課題としたい

問 がんは今や日本の死亡原因の第1位である。特に、胃がんは死亡率は減少しているが、罹患率は未だ1位である。バリウムを飲まなくても、血液検査でピロリ菌や胃の粘膜の萎縮度が分かり、胃がんの早期発見につながるとして注目されているABC検査を導入してはどうか。

市長 本市においても罹患率は胃がんが第1位である。早期発見につながるのとは良いと思うが、一人当たり4200円の費用で、全額補助となれば約1000万円かかる。導入方法も含め、検討したい。

総社版ネウボラ構築を目指してはどうか

問 「ネウボラ」とは、フィリピン語で「相談する場所」

| ヘリコバクター・ピロリ 抗体検査 | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 陰性 10未満(-) | 陽性 10以上(+) |
| A 陰性 (-) | B 陽性 (+) |
| D 陰性 (1+) / (3+) | C 陽性 (1+) / (3+) |

ABC検診判定表

の事で、ネウボラ政策とは、妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援を指す。そこで、妊娠期間中も気軽に相談できる場所を、既存の子育ての場所を活用して設置してはどうか。また、ニーズによって、赤ちゃん訪問事業を同じ保健師で出産前3か月から子どもが1歳になるまで延長してはどうか。また、母子手帳を子ども版と母親版に分けてはどうか。

市長 ニーズを捉えて検討したい。

大熊 公平



2025年問題にどう対応していくのか

地域ケアシステムを準備し万全な対策で臨みたい

問 戦後のベビーブームで生まれた団塊の世代、昭和22年生まれから昭和25年生まれの世代が全員75歳の後期高齢者になる、「2025年問題」への準備状況はどうか。

市長 10年後には、亡くなる場所がなくなるといふインパクトのある問題だ。人数が多く物理的にパンクする可能性すらあるが、医療・介護など考えられるすべての連携を図り、万全な体制で対応して後期高齢者の不安を安心に変えられるよう準備していく。

問 介護予防支援事業を市内6カ所の地域包括支援センターに委託し行っている。昨年、「高齢者の困り込みが行われている」などの新聞報道がなされたが、本市ではどうか。

市長 可能性はある。税金で委託し運営しているからには、市民の信頼を損なってはならない。厳しくチェックし、きちんとやっていく。

保健福祉部長 対等の立場で委託契約を締結し、事業評価も行ってはいる。もしも高齢者の困り込み等があれば指導し、場合により契約の停止もある。

問 地域包括ケアシステムの充実と課題はどうか。

保健福祉部長 地域の実情に応じて構築していく。完成というものはない。

問 マンパワーの確保、育成はどうか。

市長 全然足りていない。就職説明会などの支援をしている。



西森頼夫

問 市長は職員を叱ることが多いがどう思っているか

答 やさしく対応しているつもりだが反省もしている

問 定年前に早く退職する職員が多い。家庭の事情や自己の都合での退職もあるが、仕事で悩んでいるときに、市長の激しい叱り方に苦しみ退職を余儀なくしている人が多い。どう受け止めているか。

市長 職員には優しく対処しているつもりだが、私に原因があるのなら反省し、今後は気をつける。

問 叱られても悔やまない人胸に止めて悩み苦しむ人、それぞれ個人差がある。「人を見て法を説け」とのことわざがある。市長の意に沿わなかったら叱る、雷を落とすといったことは、気をつけて対処すべきと考えるがどうか。

市長 人の成長には、褒めて伸ばすことと叱って伸ばすことを見極めるよう心がけていく。

総務文教委員会

当委員会で審査した案件は、議案11件であり、「総社市昭和地区英語特区に係るスクールバス等の運行に関する条例の制定の制定について」は修正議決。その他の議案は原案どおり可決又は同意しました。主な内容は次のとおりです。

◎平成26年度一般会計補正予算(第8号)

《主な内容》

・国の交付金を活用した地方創生先行事業「昭和地区等英語教育推進事業」等経費
・小・中学校耐震化工事経費

問 小・中学校や幼稚園の防犯カメラ設置状況と、その財源内訳はどうか。

答 小学校43台、中学校10台に設置済みで、事業費の2分の1が県補助、残りが単市予算である。幼稚園は平成27年度で設置する予定である。

◎倉敷市及び総社市との高梁川流域連携中枢都市圏形成

に係る連携協約の締結に関する協議について

倉敷市及び本市が、高梁川流域圏における連携中枢都市圏形成に係る連携を図るため、基本的な方針及び役割分担を定めようとするものです。

問 圏域の中で倉敷市のみ之恩恵があるのではないか。共存・共栄を掲げているが、どのような計画で目標達成について検証を行っているのか。

答 連携は圏域全体で取り組む。人口減少への対応は、圏域全体で中期及び長期目標を設定し、また、本市の目標も併せ持ち人口増加を目指す。

◎総社市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

コンプライアンス推進室の推進監の報酬月額を定めるため条文を整備するものです。

問 コンプライアンス推進監に警察OBを充てるとのことだ。その期間はどうか。

◎総社市昭和地区英語特区に係るスクールバス等の運行に関する条例制定

昭和地区英語特区の学校へ登校園する幼児・児童・生徒を支援するスクールバス運行等に関する条例制定のものです。

問 どのように運行するのか。
答 27人乗りマイクロバスで、登校園の往路のみ運行、総社駅から発車して美袋駅、昭和中を経由、維新幼・小までのルートを考えている。

問 今後の状況に関係なく運行を継続するのでなく、1年後に状況を見て、再度検討すべきではないか。
答 利用状況を見ながら、利用者とも相談して対応する。

◎以上のような質疑、答弁がなされた後、笠原委員から「運行状況や財源等、情勢が今後どう変化するか分からない。運行状況をチェックしながら、どうあるべきか検証し、再度議会でも検討したい」と

とを見極めるよう心がけていく。

問 集会や大会会場で若い職員を叱る場面に幾度となく遭遇した。大勢の前で市長に叱られると一層緊張し、萎縮する。やめるべきだ。

市長 すみません。皆の前で注意したり、叱ったりすることはよくないことだ。今後はもうしない。

ふるさと納税者へのお礼用総社産米について

問 お礼に使う米1000俵(60トン)は農家と契約するのか、それとも農協か、地食べ公社から購入するのか。

市長 営農組合や請負で営農している大規模経営農家から1俵1万3000円で購入する。

の発言があり、「条例施行後1年を目途に教育委員会は、運行状況等を勘案し条例の規定に検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする」旨を附則に追加する修正案が提案され、全員一致で修正可決しました。

◎平成27年度一般会計予算

問 本庁舎改修経費に風除室の移設や中庭改修の工事を追加したのはなぜか。
答 この際、開放感のある玄関スペースを設けたり、中庭を囲むガラスの枠の腐食を補修したりするためである。

問 学校一括交付金は、使途が限られるのか。学校の自由裁量で使うことができるのか。
答 校長の権限に委ね、自由に使うことができる。

厚生委員会

当委員会で審査した案件は、議案18件であり、いずれも原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

◎平成26年度一般会計補正予算(第8号)

《主な内容》

・国の交付金を活用した「そうじゃ若者自立ワークショップ」設置調査分析費
・「そうじゃ若者自立ワークショップ」設置調査分析の具体的な内容はどうか。

答 ニートや引きこもりなどの若年層に就労訓練の居場所を提供する施設設置に向け、調査分析するものである。

◎平成27年度国民健康保険特別会計予算

問 平成30年度から国民健康保険が県単位化される予定だが、保険料や基金はどうか。
答 県内一律の保険料にはならない予定で、県が各市町村の医療費や保険者数、所得等をみて分賦金を課す。市は保険料を定めて集め、県に納める。基金はなるべく温存し、分賦金不足を生じた際の補てんなどに使いたい。

◎平成27年度一般会計予算

問 山手や清音地区の個別の祭等の補助金を一括交付金に組み入れるとのことだが、平成26年度予算と同額を入れるのか。

答 山手・清音の各協議会と相談し、今までの補助金額より若干減額、活用を検討してもらおうよう話を進めている。

産業水道委員会

当委員会で審査した案件は、議案11件であり、全て原案どおり可決しました。

◎平成26年度一般会計補正予算(第8号)

《主な内容》

・国の交付金を活用した商品券発行事業など

問 商品券の内容はどうか。
答 千円で購入した商品券で千二百円分の市内での買い物ができるもので、総額6億円分を販売する。市民一人当たり(年齢不問)5千円から5万円まで購入でき、三菱自動

車を新規購入する場合(50台分)のみ、その限度額を100万円とする。

問 6千万円分を三菱自動車購入に限定する政策は、消費喚起ではなく生産協力だ。市内のウイングバレイ従業員にも消費を喚起し、買い物ができるために商品券を歩き渡らせるべきだと思うがどうか。



2月13日、産業水道委員会が「きびじ農業後継者クラブ」と意見交換会を開催

答 商品券が売れ残らないよう考えた。国も自動車等高額商品は購入できないとしているが、本市の場合、ウイングバレイの従業員約4千人の中心的な産業であり、その生産の約7割が三菱自動車分であることから、国の承諾を得て実施するものである。

◎以上のような質疑、答弁の後、村木委員から「公平であるべき行政が、特定の商品の販売促進を行うことがあってはならないので、本補正予算案は認められない」と趣旨の反対論があり、起立により採決を行ったところ、起立多数で原案どおり可決されました。

次に、村木委員から本件に関連し「商品券の発行は特定商品の販売促進に寄与するような限定枠を設けず、その全額が広く一般市民の個人消費を底上げし、消費喚起につながるものとなるよう対象品目を精査して実施することを求める」旨の附帯決議案が提

案され、賛成及び反対討論の後、起立により採決を行ったところ、賛成多数で附帯決議を付することに決定しました。

◎総社市そうじゃ産米食へ条例の制定について
食生活や農業への市民の関心を高め、総社産米の消費を拡大して農業を活性化するために必要な事項を条例で定めようとするものです。

問 数値目標は設けないのか。
答 定めていないが、一人当たりの米の消費量は、昭和38年ごろに比べ、半分以上に下がっているため、これをどう上げていくかを考えていきたい。

建設消防委員会

当委員会で審査した案件は、議案9件であり、いずれも、原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。
◎総社市空家等の適正な管理に関する条例の制定
適切な管理が行われていない空き家等が市民の生活環境

に深刻な影響を及ぼしていることから、所有者等に対し適切に管理してもらう条例です。
問 法にない本市独自の施策は盛り込まれているのか。
答 条例では、空き家にならないための啓発等に努めることも定めている。

委員会の動き

- 1月29日 産業水道委員会が市観光協会と意見交換
 - 2月2日~3日 総務文教委員会が子ども育成事業、防災対策等について兵庫県豊岡市・大阪府箕面市を行政視察
 - 2月13日 産業水道委員会が、きびじ農業後継者クラブと意見交換(上の写真)
 - 2月16日 総務文教委員会が昭和小学校で教諭と意見交換
 - 2月17日 産業水道委員会が市農業委員会と意見交換
- ◎本市議会常任委員会では、広く市民の皆さんのご意見を聴くため、各種団体との意見交換会を開催しています。団体等で常任委員会との意見交換を希望されるときは、議会事務局へご相談ください。(Tel 92-8332)



慎重な調査検討を重ねる 議員定数等調査検討に関する小委員会

議員定数等調査検討特別委員会では、その詳細な調査検討を委員8人で構成する小委員会に付託しています。(議会だより前号参照)

3月19日、小委員会は第2回の特別委員会で調査内容の中間報告を行いました。ここでは、その内容と今後の調査について紹介します。

小委員会では、これまで5

議員は20〜24名が適正 定数等調査検討小委が特別委に中間報告

回の調査を実施。第2回小委員会(1月16日)では、議員定数・報酬、政務活動費の適正な在り方について順次調査し、結果を本年9月までにまとめることなど今後の調査方針等を決定しました。

また、本市議会でのこれまでの議員定数に関する議論の経過、陳情、議会報告会等で寄せられた市民の皆さんのご意見の再確認も行いました。

地方分権が進む中 議会の責務を果たすには
第3回小委員会(1月28日)では、議会や委員会、議員の権限や責任に関する条例の再確認とともに、議会や委員会の開催日数や活動状況を検証、地方分権が進む中の議会像、議員像を委員が討議しました。

第4回小委員会(2月9日)では、地方議会の在り方と言

議員定数を考える上での「論点」

- ①議会(委員会)の権限、機能から見た定数
 - 1) 地方分権時代における議会・委員会、議員のあるべき姿の観点
 - 2) 行政監視機能強化の観点(執行部の民意反映)
 - 3) 委員会審査充実の観点(委員会数及び委員数)
- ②人口・面積規模等による定数
 - 1) 人口=類似団体との比較
 - 2) 面積=地理的条件を含めた行政効率の観点
 - 3) 行政区・学区の観点
- ③本市の現状および課題並びに将来の予測および展望の観点による定数
 - 1) 人口・予算規模等の推移
 - 2) 本市の将来像
 - 3) 議員選挙における立候補者数
- ④予算と定数
 - 1) 財政状況、行財政改革の観点
- ⑤市民意見と定数
 - 1) 市民アンケート等による市民意見の観点

及した国の審議会の答申等も確認。議員定数を考える検討項目を議論し、項目ごとに適正な議員定数を議論しました。

第5回小委員会(2月27日)では、議員定数を考える上での論点(右表のとおり)を明確にし、論点ごとに適正な議員定数を検討した結果、現行定数24人の現状維持、2人削減の22人、4人削減の20人の3案に絞り込んでいます。

市民アンケートを実施 学識経験者の専門講義も

3月19日、第2回特別委員会では、小委員会の赤澤委員長が調査経過を中間報告。また、平成24年4月以来となる

「議会に関する市民アンケート」を実施することや、第三者の意見として、議会運営等の専門家を招聘して研修会を開催することも決定しました。

小委員会では今後、引き続き議員定数の適正な在り方を調査検討しながら、議員報酬や政務活動費の在り方についても研究し、本年9月に最終報告案をまとめ特別委員会に報告、特別委員会は9月定例会で議長に報告、決定することとしています。

小委員会は市民の皆さんの傍聴可能です。日程、調査概要は、随時、市議会のホームページに掲載しています。

議員と市民の意見交換会を開催

議員定数や報酬の適正な在り方とは？

開かれた議会であるために、議員全員が少人数に分かれて公民館等に出向き、市民の皆さんと意見交換を行うとともに、活動報告を行う意見交換会を下表のとおり開催します。

この意見交換会（議会報告会）は、市議会基本条例に基づき平成24年から年2回実施し、市内各地区公民館や分館を巡回しています。

今回のメインテーマは議員



昨年5月実施の第5回議会報告会

議員と市民の意見交換会 開催日時・場所

| 日時 | 会場 | 出席(担当)議員 |
|---------------------------------|----------|----------------------------|
| 5月17日(日) 10:00 ～ 11:30 | 総合福祉センター | 村木、笠原、加藤、高谷、小川、深見、三宅、難波 |
| | 昭和公民館 | 西森、山口、荒木、名木田、赤澤、小西利、小西義、萱野 |
| | 山手公民館 | 剣持、根馬、岡崎、大熊、塩見、片岡、頓宮、津神 |
| 14:30 ～ 16:00 | 東公民館 | 片岡、頓宮、津神、難波、剣持、根馬、小川、岡崎 |
| | 西公民館 | 荒木、名木田、小西利、小西義、西森、山口、高谷、三宅 |
| | 清音公民館 | 大熊、塩見、赤澤、萱野、笠原、加藤、村木、深見 |

問い合わせ 議会事務局

(☎92)8332

定数等の在り方と議会や委員会の活動報告です。事前の申込みは不要で、どなたでも出席できます。最寄の会場にお越しください。

6月定例市議会の予定

| 日時 | 内容 |
|----------|---------|
| 6月1日(月) | 開会 |
| 6月4日(木) | 一般質問 |
| 6月5日(金) | 一般質問 |
| 6月8日(月) | 一般質問・質疑 |
| 6月9日(火) | 委員会 |
| 6月10日(水) | 委員会 |
| 6月11日(木) | 委員会 |
| 6月12日(金) | 委員会 |
| 6月19日(金) | 閉会 |

問い合わせ 議会事務局 Tel.92-8332

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。各月の執行状況については、議会事務局及び市議会のホームページ(<http://www.gikai.city.soja.okayama.jp/>)でご覧になれます。

[平成27年1～3月分]

| 支出区分 | 支払日 | 支出金額 | 支出先等 |
|---------|------|---------|----------------|
| お供 | 2/25 | 10,000 | 元総社市助役 |
| 土産等 | 1/16 | 6,042 | 行政視察先(総務文教委員会) |
| | 3/22 | 15,800 | 姉妹都市茅野市来総土産 |
| 合計 | | 31,842 | |
| 4月からの累計 | - | 240,814 | - |

編集後記

息子も小学校に進学し、体が隠れるくらいのランドセルを背負い通学する姿を初々しく思いながら、自らが希望と不安を胸に議席に着いたのを思い出しました。3月議会では、少子高齢化や人口減少に伴う今後の総社市のあり方について、多くの議論がなされました。それらを編集しながら、改めて「責任」というランドセルの重みを痛感しました。当時、希望に満ちた総社・山手・清音の合併から新総社市10周年。我々市議会一同も初心を忘れず、総社市の更なる発展に邁進して参ります。(萱野哲也)

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長 村木 理英
副委員長 三宅 啓介
委員 萱野 哲也
委員 岡崎 亨一
委員 小川 進一